

学校教育目標	学び合い 助け合い たくましく生きる子どもの育成
--------	--------------------------

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	実施率 (%)	取組状況の確認 (教職員の取組はどうだったか) (どこに課題があったか)	達成状況の確認 (子どもの変容の状況) (達成指標にどれだけ近づいたか)	検 証 (取組状況・達成状況から考えられる取組の効果) (改善策を練り上げるための根拠・理由)	次期に向けた改善策	
＜知＞  学びに向かう力をもつ子どもの育成	①由布市学力調査において、低位層を30%以下にする (1, 2学期においては、国・算の単元テストにおいて、目標値に対する達成率70%以上を目指す)  ②児童アンケートで、全員が「授業がよくわかる」と回答する	学校 阿南小学習のルール4か条の徹底	見通しと課題を明確に位置付けた、子どもが主体的に取り組む授業の推進				【指標の妥当性】  【取組状況から】  【達成状況から】		
			授業者は、見通しと課題のつながりを明確にし、子どもたちの考えの交流を位置付けた算数の授業を工夫する (定着のための時間を除く全時間で、見通しと課題を工夫して位置付ける)						
			学級担任は、学習のルール4か条を日常的に指導し、毎月1回子どもたちに振り返り(チェック)を行わせて変容を可視化するとともに、残された課題を明確にしながらか指導を積み重ねていく 【担任以外も、チェック結果を認識し、各自の持ち分での指導に生かす】						
		家庭	チャレンジタイムを活用した、子どもの実態に即した国語と算数の補充学習の実施						
		地域	学級担任と連携した、子どもの家庭学習習慣の確立の取組						
			課題やプリントの間違い箇所のやり直し及び修正のチェックを毎回行いながら、子どもの実態に即した支援を行う 【チャレンジタイムの指導に入った全教職員が実践する】						
			懇談と通信をとらえて担任と共通理解した、子どもへの具体的な学習支援の方策を実行する						
			各学年が学期に1回以上企画する地域人材活用の学習活動に、積極的に参加する 《 参加した学習活動及び子どもたちに向けた感想を書く 》						
＜徳＞  自分に自信・友だちに思いやりをもつ子どもの育成	①由布市Q-U調査において、非承認群を15%以下にする (満足群を70%以上にする)  ②児童アンケートで、90%以上が「学校が楽しい」と回答する。	学校	毎月1回の生活研の実施と、その実態把握からとらえた子どもたちの特性をふまえた全教職員による指導の推進 (子どもたちに自己肯定感・自己存在感を味わわせることを念頭に)				【指標の妥当性】  【取組状況から】  【達成状況から】		
			お互いのよいところを認め合う場の設定						
			生活目標をもとにして児童会で「なかよしめあて」「あいさつめあて」を立てさせ、学級担任は、各学級の実態に合わせてその具体化に取り組む 【各学級の具体的めあてを全校に向けて掲示し、担任以外も、各自の持ち分の指導場面に生かす】 【毎月、全校でふりかえりの場をもつ】						
		家庭	集団生活のきまりを大切に、落ち着いた生活の促進						
		地域	基本的な生活習慣の定着促進						
			P T Aが主体となって、学期に1回各家庭で「生活リズムがんばり表」を使って、子どもたちの生活習慣の実態把握・分析・改善すべき点の提案を行い、生活習慣の見直しを促進する						
			学校が企画する地域参加の教育活動に積極的に参加						
			参加した教育活動について、必ず子どもたちへの感想を書く						